

家庭ごみの有料指定袋制導入後における京都市のごみ収集量について

京都市では、この度、平成18年10月に家庭ごみの有料指定袋制を導入して以降の9ヶ月間の家庭ごみ及び資源ごみ（缶・びん・ペットボトル）の収集量を、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

制度実施後9ヶ月を経過しましたが、家庭ごみが対前年度と比較して15%、資源ごみも20%減量しており、京都市民の皆様の高い環境意識に支えられ、着実にごみの減量が定着しています。

記

1 家庭ごみ

	10月～3月	4月～6月(※1)	合計
18年度～19年度	116,491 t	60,850 t	177,341 t
17年度～18年度	136,461 t	72,150 t	208,611 t
対前年度比(※2)	△14.6% (△19,970 t)	△15.7% (△11,300 t)	△15.0% (△31,270 t)

※1 速報値につき、50トン刻みで四捨五入した概数
 ※2 対前年度比：前年同月のごみ量との比較（以下同じ）

2 資源ごみ（缶・びん・ペットボトル）

	10月～3月	4月～6月(※1)	合計
18年度～19年度	6,685 t	3,540 t	10,225 t
17年度～18年度	8,438 t	4,350 t	12,788 t
対前年度比(※2)	△20.8% (△1,753 t)	△18.6% (△810 t)	△20.0% (△2,563 t)

※1 速報値につき、10トン刻みで四捨五入した概数

(参 考)

循環型社会推進部ホームページアドレス：<http://www.city.kyoto.jp/kankyo/recycle/index.html>